

平成21年度 財務の概要

福岡北九州高速道路公社

目 次

1. 会計処理の特徴	1
2. 償還準備金積立方式のしくみ	2
3. 収支状況	3
4. 営業中道路の収支状況	4
5. 財務状況	6
6. 償還準備金の積立状況	8
7. 料金収入・通行台数・供用延長の推移	9
8. 供用実績	10
9. 長期借入金の残高状況	12
10. 償還計画と実績の対比	13

1. 会 計 処 理 の 特 徴

公社では、財政状態や経営成績を明らかにするため、一般に公正妥当と認めれている企業会計原則に準じた会計処理を行っています。

＜根拠法令等＞地方道路公社法、同法施行規則、福岡北九州高速道路公社会計規程、同規程実施細則

有料道路制度の会計の特徴は

■有料道路事業は、借入金により道路を建設し、お客様からの料金収入により定められた期間内に償還し、償還完了後は無料開放する制度です。

■毎年度の『収支差』（収入と費用の差）は全て投下資金（借入金）の償還に充当します。

借入金の償還状況を適切に把握するために

■福岡北九州高速道路公社は、利益を配当する義務がなく、法人税法の公共法人であるため、法人税を課せられたりすることがなく、収支差の全てを償還に充当します。

■新たな設備投資資金を積み立てるという企業会計上一般に採用されている減価償却費を計上する方式ではなく、むしろ、無料開放を実現するとの観点から、借入金の償還状況を会計処理において適切に把握することが重要です。

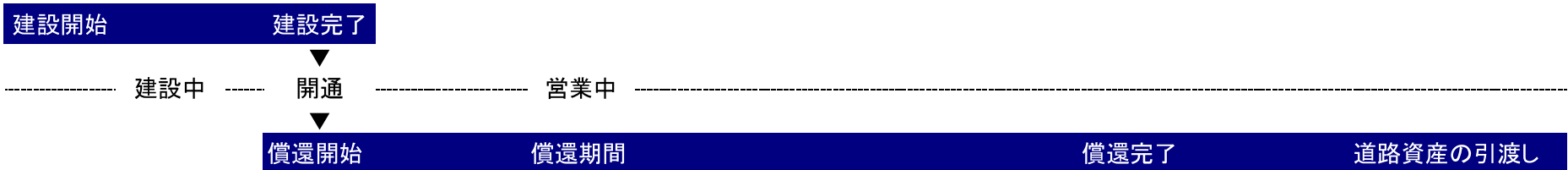
償還準備金積立方式を採用

■借入金の償還に充てられる各年度の『収支差』を『償還準備金繰入』として費用計上し、その累計額を『償還準備金』として負債に計上する方式を採用しています。

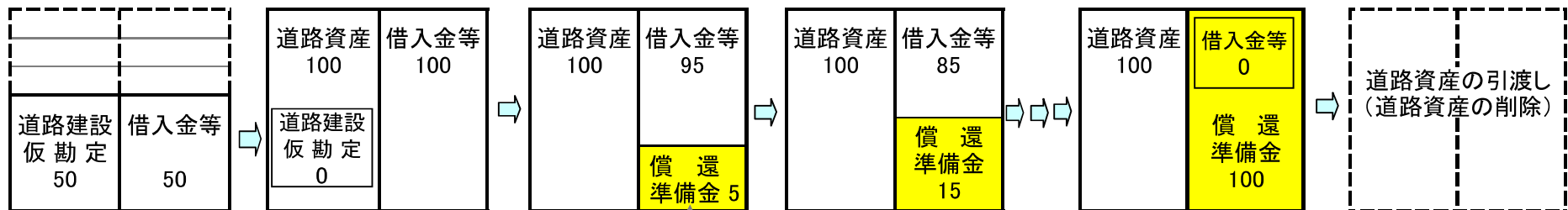
■道路の資産を形成するのに要した費用を積み上げた『道路資産』と借入金の返済に充てる『償還準備金』を対比することにより、償還状況が明確に把握できます。

2. 償還準備金積立方式のしくみ

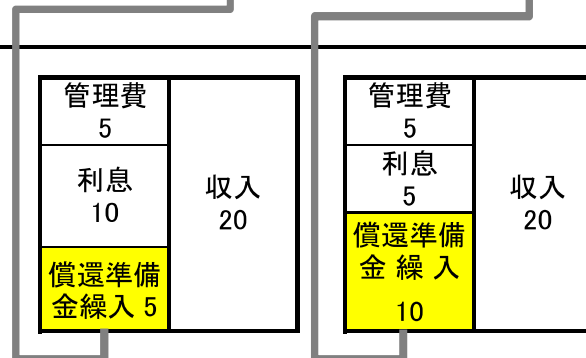
公社の貸借対照表と損益計算書にみる償還準備金積立方式のしくみ



■貸借対照表



■損益計算書



3. 収支状況

平成21事業年度損益計算書（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）

（単位：百万円）

費 用 の 部				収 益 の 部			
勘 定 科 目	H21年度	H20年度	増減額	勘 定 科 目	H21年度	H20年度	増減額
	A	B	A－B		A	B	A－B
経常費用	50,483	51,354	△ 871	経常収益	50,521	51,401	△ 880
事業資産管理費	9,534	9,631	△ 97	業務収入	50,249	50,600	△ 351
福岡高速道路管理費	5,458	6,055	△ 597	道路料金収入	49,501	49,842	△ 341
北九州高速道路管理費	3,974	3,478	496	（福岡高速道路）	34,915	34,665	250
駐車場管理費	102	98	4	（北九州高速道路）	14,586	15,177	△ 591
一般管理費	1,322	1,088	234	ETCマイルージ還元負担金収入	420	425	△ 5
一般管理費	1,089	921	168	（福岡高速道路）	402	424	△ 22
その他	233	167	66	（北九州高速道路）	18	1	17
引当金等繰入	28,112	28,510	△ 398	駐車場料金収入	211	213	△ 2
道路事業損失補填引当金繰入	2,357	2,374	△ 17	その他	117	120	△ 3
（福岡高速道路）	1,662	1,651	11	受託業務収入	182	487	△ 305
（北九州高速道路）	695	723	△ 28	負担金事業受入金	22	9	13
償還準備金繰入	25,755	26,136	△ 381	業務外収益	67	304	△ 237
（福岡高速道路）	20,685	19,620	1,065	受取利息	20	33	△ 13
（北九州高速道路）	5,070	6,516	△ 1,446	その他	47	271	△ 224
受託業務費	182	487	△ 305				
負担金事業費	22	9	13				
業務外費用	11,311	11,629	△ 318				
債券利息	6,227	6,194	33				
借入金利息	4,768	5,179	△ 411				
その他	316	256	60				
当期利益金	38	47	△ 9				
合 計	50,521	51,401	△ 880	合 計	50,521	51,401	△ 880

（注）各費目において四捨五入しているため、合計において合致しない場合があります。

4. 営業中道路の収支状況

【福岡高速道路】

(単位:百万円)

	収益 (A)	営業中道路に係る費用(B)					償還準備 金繰入 (A)－ (B)	収支率 (B)/(A) ×100円
		事業資産 管理費	一般 管理費	支払 利息等	損補 引当金 繰入	計		
H21	35,420	5,458	640	6,975	1,662	14,735	20,685	41.6円
H20	35,190	6,055	553	7,311	1,651	15,570	19,620	44.2円

【北九州高速道路】

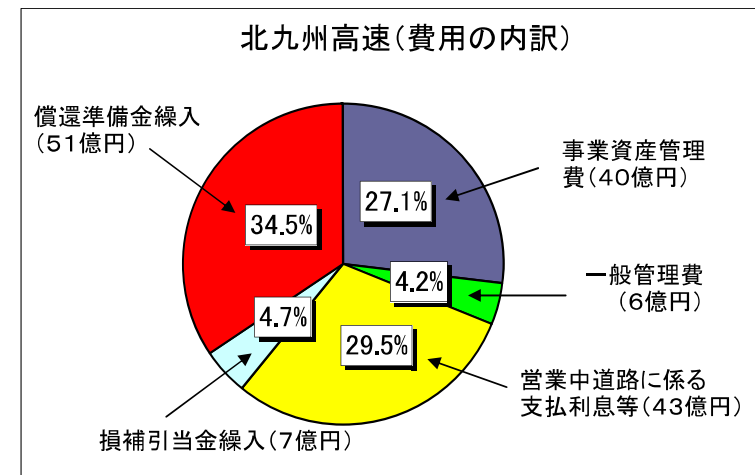
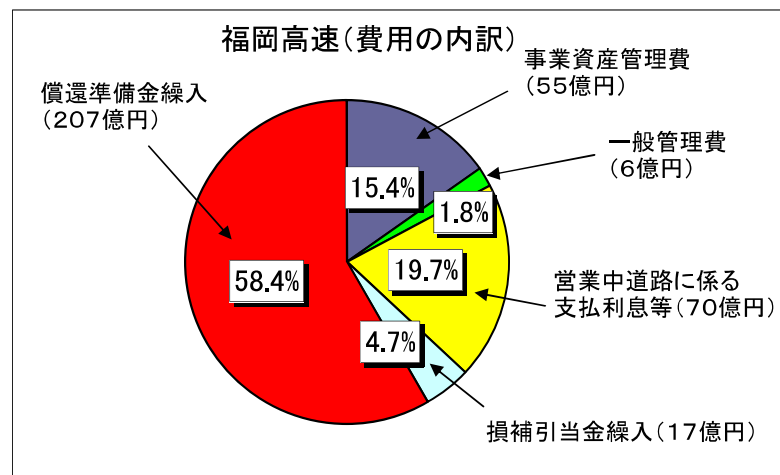
(単位:百万円)

	収益 (A)	営業中道路に係る費用(B)					償還準備 金繰入 (A)－ (B)	収支率 (B)/(A) ×100円
		事業資 産管理 費	一般 管理費	支払 利息等	損補 引当金 繰入	計		
H21	14,682	3,974	607	4,336	695	9,612	5,070	65.5円
H20	15,500	3,478	465	4,318	723	8,984	1,516	58.0円

・「償還準備金繰入」は、営業中路線から生じる毎期の収支差を高速道路の建設に投下した借入金の返済に充てるもので「償還準備金」に繰り入れられるもの。

・「収支率」は、100円の収入を得るのにどのくらいの費用が必要であったかを示すもの。

(注)各項目について四捨五入しているため、合計において合致しない場合があります。



【道路部門】

(1) 福岡高速道路

- ① 経常収益は、354億2,000万円(対前年比2億3,000万円の増)となった。前年度に比べ1日当たりの利用交通量が1日当たり1,556台増加したことによるもの。
- ② 経常費用(償還準備金繰入を除く)は、147億3,500万円(対前年比8億3,500万円の減)となった。主な減少要因は、課税仕入れの増加に伴う納付消費税の減少や管理費のコスト縮減、金利低下などによる支払利息が減少によるもの。
- ③ 道路事業における収入から管理費と支払利息等を差引いた収支差である償還準備金繰入は、206億8,500万円(対前年比10億6,500万円の増)となり、道路の建設に投下した借入金の返済に充当される。

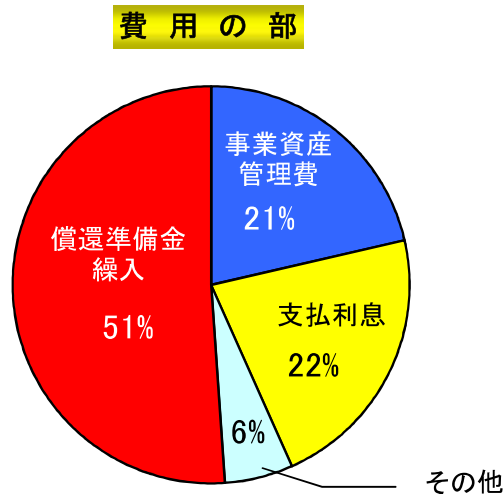
(2) 北九州高速道路

- ① 経常収益は、146億8,200円(対前年比8億1,800万円の減)となった。前年度に比べ1日当たりの利用交通量が3,943台の減少したことによるもの。
- ② 経常費用(償還準備金繰入を除く)は、96億1,200万円(対前年比6億2,800万円の増)となった。主な増加要因は、平成20年度に整備計画が完了したことに伴い課税仕入れの減少により納付消費税が増加(対前年比5億2,700万円増)したことや、また管理体制移行により一般管理費の営業部門割合が拡大したことによるもの。
- ③ 道路事業における収入から管理費と支払利息等を差引いた収支差である償還準備金繰入は、50億7,000万円(対前年比14億4,600万円の減)となり、道路の建設に投下した借入金の返済に充当される。

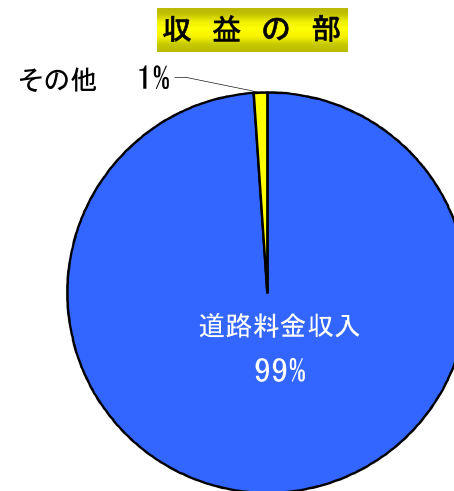
【駐車場部門】

- ① 当期利益は3,800万円(対前年比900万円の減)となった。

☆損益計算書(道路・駐車場)



※その他: 借入金関係諸費等、損失補てん引当金繰入、受託業務費ほか



※その他: 駐車場料金収入、業務外収益、受託業務収入ほか

5. 財務状況

平成21事業年度貸借対照表

(平成22年3月31日現在)

資 産 の 部				負 債 及 び 資 本 の 部			
勘 定 科 目	H21年度	H20年度	増減額	勘 定 科 目	H21年度	H20年度	増減額
	A	B	A－B		A	B	A－B
流動資産	10,513	14,635	△ 4,122	流動負債	83,319	88,538	△ 5,219
固定資産	1,232,957	1,218,563	14,394	固定負債	738,659	754,834	△ 16,175
事業資産	1,190,397	1,189,680	717	福岡北九州高速道路債券	331,211	316,711	14,500
福岡高速道路	816,200	815,555	645	長期借入金	399,238	429,721	△ 30,483
北九州高速道路	374,197	374,125	72	退職給与引当金	1,073	1,320	△ 247
事業資産建設仮勘定	39,663	25,823	13,840	ETCマイレージ引当金	248	193	55
福岡高速道路	39,663	25,823	13,840	資産見返交付金	6,889	6,889	0
北九州高速道路	0	0	0				
有形固定資産	2,394	2,517	△ 123	特別法上の引当金等	203,544	175,433	28,111
その他	503	543	△ 40	道路事業損失補填引当金	39,434	37,077	2,357
				福岡高速道路	24,105	22,442	1,663
				北九州高速道路	15,329	14,635	694
繰延資産	1,142	1,159	△ 17	償還準備金	164,110	138,356	25,754
				福岡高速道路	157,442	136,758	20,684
				北九州高速道路	6,668	1,598	5,070
				(負債合計)	1,025,522	1,018,805	6,717
				基本金	218,382	214,882	3,500
				剰余金	708	670	38
				(資本合計)	219,090	215,552	3,538
資 産 合 計	1,244,612	1,234,357	10,255	負債・資本合計	1,244,612	1,234,357	10,255

(注)各費目において四捨五入しているため、合計において合致しない場合があります。

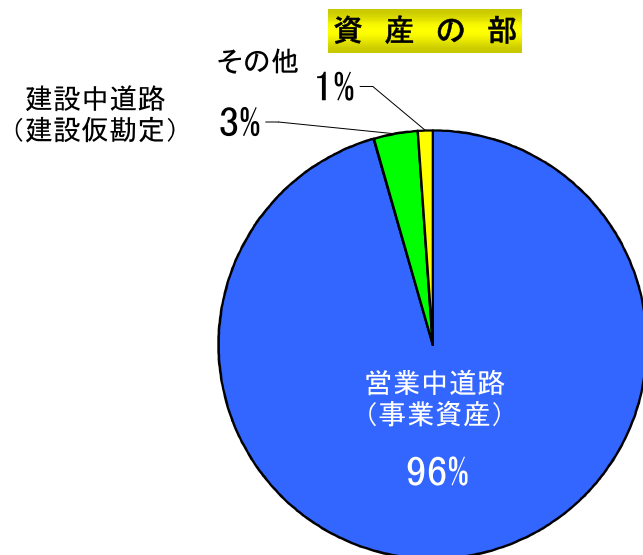
(資産の状況)

資産の総額は、1兆2,446億1,200万円となっている。このうち営業中の道路資産は1兆1,903億9,700万円、工事中道路の道路資産は396億6,300万円となっている。この合計額は、1兆2,300億6,000万円で資産全体の約99%を占めている。

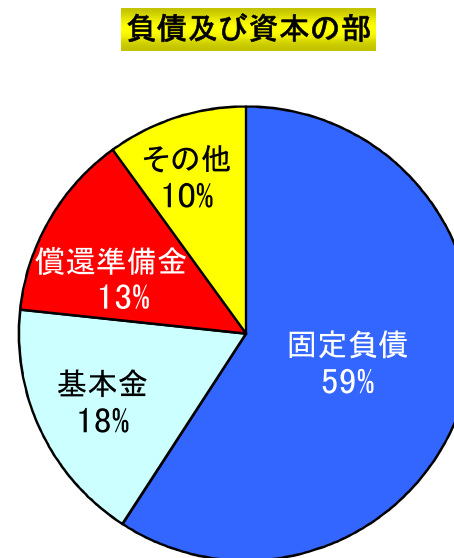
(負債及び資本の状況)

負債及び資本の総額は、1兆2,446億1,200万円となっている。主なものは、道路債券などの借入金が8,030億3,200万円（流動負債計上分725億8,300万円と固定負債計上分7,304億4,900万円の合計額）、営業中道路の建設・改良に投下した借入金の返済に充てた額（償還準備金）が1,641億1,000万円（福岡高速1,574億4,200万円、北九州高速66億6,800万円）、地方公共団体からの出資金が2,183億8,200万円となっている。

☆貸借対照表より



※その他:流動資産、有形資産、その他資産



※その他:流動負債、退職給与引当金、損失補てん引当金ほか

6. 償還準備金の積立状況

【福岡高速道路】

(単位: 百万円)

	営業中道路 (償還対象額) (A)	償還準備金 (B)	未償還残高 (A-B)	償還率 (B/A) × 100
H21	813,886	157,442	656,444	19.3%
H20	813,242	136,758	676,484	16.8%

【北九州高速道路】

(単位: 百万円)

	営業中道路 (償還対象額) (A)	償還準備金 (B)	未償還残高 (A-B)	償還率 (B/A) × 100
H21	369,621	6,668	362,953	1.8%
H20	369,549	1,598	367,951	0.4%

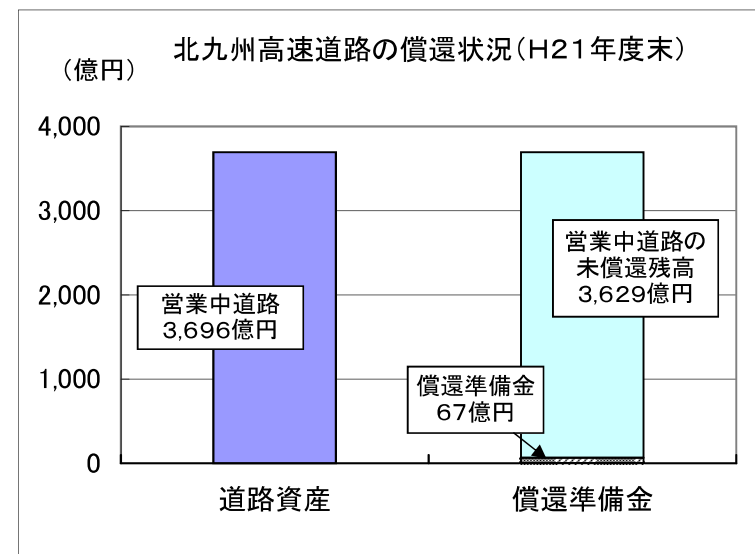
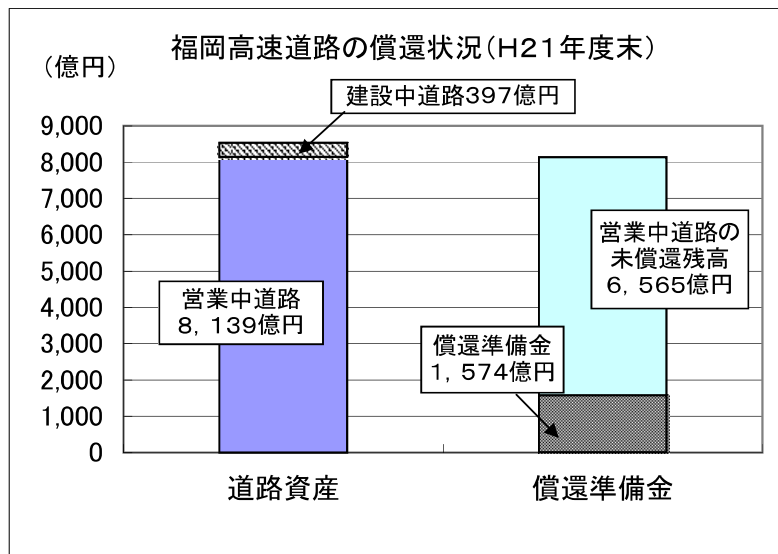
「営業中道路(償還対象額)」とは、営業中道路の建設に投下した額の合計額(営業中道路の資産総額)から、償還を要しない資産見返交付金(補助金)を控除した額。

「償還準備金」とは、当該年度末までの償還準備金繰入額の累計額。

「未償還残高」とは、営業中道路について今後償還準備金を積み立てて、返済をしていくことになる金額。

(単位: 百万円)

	営業中道路の 資産総額	資産見返 交付金	営業中道路 (償還対象額)	備 考
福岡高速道路	816,199	2,313	813,886	この他に、工事中道路の資産総額(道路建設仮勘定): 39,663
北九州高速道路	374,197	4,576	369,621	



7. 料金収入・通行台数・供用延長の推移（全体）

平成21年度

料金収入 **495億円**

日平均料金収入 **1.4億円**

日平均通行台数 **24.7万台**

供用延長距離

(km)

120.0

100.0

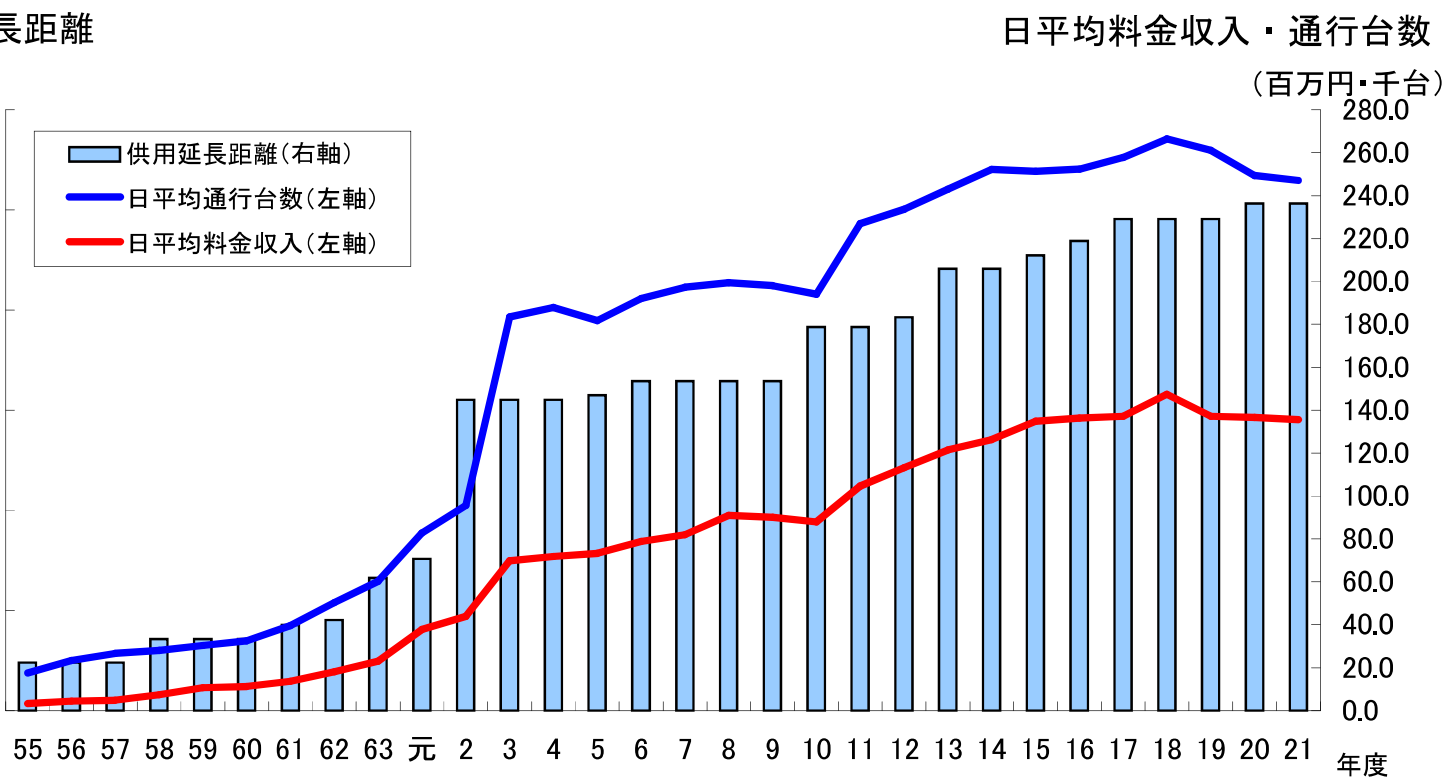
80.0

60.0

40.0

20.0

0.0



供用延長距離

平成22年3月末現在
101.3km

料 金

福岡高速

普通車 600円

大型車1, 200円

北九州高速

普通車 500円

大型車1, 000円

8. 供用実績

〔福岡高速道路〕

供用区分	供用年月日 料金改定日	供用延長 (km)		供用区間	料 金 (円)	
		区間	累計		大型車	普通車
一次供用	S55. 10. 20	5. 9	5. 9	香椎～東浜	400	200
	S57. 3. 27	—	5. 9	貝塚入口		
	S58. 6. 30	—	5. 9	貝塚出口		
二次供用	S58. 10. 6	1. 5	7. 4	東浜～築港	700	350
三次供用	S61. 4. 23	0. 8	8. 2	千鳥橋 J C T～呉服町		
四次供用	S62. 11. 6	1. 0	9. 2	築港～天神北	800	400
五次供用	S63. 10. 31	2. 1	11. 3	天神北～西公園		
				千鳥橋 J C T (渡り線)		
六次供用	H 1. 3. 4	5. 2	16. 5	西公園～百道	1, 000	500
				呉服町～榎田		
				豊 J C T～空港通		
	H 1. 10. 1	—	16. 5	料金改定	1, 030	510
	H 2. 12. 25	—	16. 5	名島本線料金所拡幅		
	H 3. 3. 21	—	16. 5	東浜西出口		
	H 4. 4. 23	—	16. 5	名島出入口		
	H 4. 7. 1	—	16. 5	東浜西入口		
	H 5. 4. 2	0. 9	17. 4	香椎東～香椎		
八次供用	H 6. 4. 4	2. 8	20. 2	榎田～月隈北	1, 100	550
	H 9. 6. 1	—	20. 2	料金改定 (回数通行券料金)		
九次供用	H11. 3. 27	10. 8	31. 0	月隈～水城		
				貝塚 J C T～粕屋		
	H12. 3. 28	—	31. 0	料金改定・貝塚入口	1, 100	550
十次供用	H12. 11. 21	0. 5	31. 5	貝塚 J C T (渡り線)		
十一次供用	H13. 10. 13	5. 3	36. 8	百道～福重		
十二次供用	H14. 3. 10	1. 9	38. 7	粕屋～福岡 I C	1, 200	600
	H15. 5. 1	—	38. 7	料金改定		
十三次供用	H15. 5. 1	2. 7	41. 4	月隈 J C T～板付		
十四次供用	H16. 6. 27	2. 9	44. 3	西月隈出入口・板付～野多目		
十五次供用	H18. 3. 26	4. 4	48. 7	野多目～堤 (ETC運用4. 1～)		
十六次供用	H20. 4. 19	3. 1	51. 8	堤～野芥		
	H21. 3. 31	—	51. 8	堤西出入口		

(注) 料金改定日は、一次供用を除き供用年月日の翌日。但し、料金改定のみの場合は同日。

〔北九州高速道路〕

供用区分	供用年月日 料金改定日	供用延長（km）		供用区間	料 金（円）			
		区間	累計		大型車	普通車		
一次供用	S55. 10. 20	3. 7	3. 7	日明～篠崎北	300	150		
二次供用	S58. 10. 6	3. 2	6. 9	篠崎北～若園	700	350		
				東港出入口				
	S59. 4. 21	—	6. 9	篠崎南出口				
三次供用	S61. 12. 2	2. 0	8. 9	若園～横代				
				篠崎南入口				
四次供用	S63. 12. 17	1. 1	10. 0	愛宕 J C T～下到津				
五次供用	H 1. 8. 30	2. 8	12. 8	日明～戸畑	720	360		
六次供用	H 2. 3. 31	1. 0	13. 8	戸畑～若戸				
				東港 J C T～小倉駅北				
				西港出口				
				東港出入口廃止				
七次供用	H 3. 3. 31	31. 8	45. 6	春日～馬場山 一部区間料金（４号線）	300	150		
					400	200		
					500	250		
					600	300		
					720	360		
	H 5. 4. 1	—	45. 6	料金改定	720	360		
	H 7. 9. 30	—	45. 6	山路出入口	900	450		
	H 9. 6. 1	—	45. 6	料金改定（回数通行券料金）				
八次供用	H12. 7. 26	1. 5	47. 1	長野～横代				
	H12. 11. 1	—	47. 1	料金改定	1, 000	500		
九次供用	H13. 7. 2	2. 4	49. 5	枝光出入口～大谷出入口 大谷 J C T				
十次供用	H18. 2. 26	—	49. 5	小倉東IC接続				
	H20. 11. 1	—	49. 5	E T C 運用開始				
備 考	九州縦貫自動車道八幡ICと北九州高速との接続ランプに金剛出口を新設（H17. 3. 31供用） 九州縦貫自動車道八幡ICと北九州高速との接続ランプに金剛入口を新設（H18. 3. 4供用）							

(注) 料金改定日は、一次、七次供用を除き供用年月日の翌日。但し、料金改定のみの場合は同日。

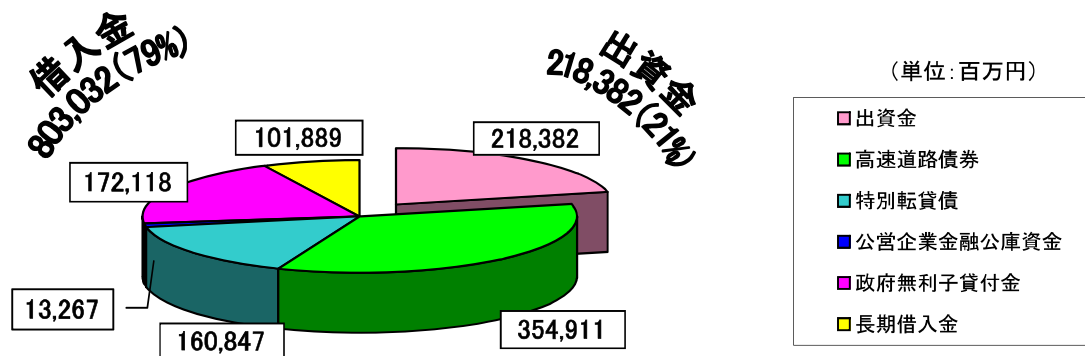
9. 長期借入金の残高状況

平成21年度末借入金残高

(単位:百万円)

		全 体			路線別内訳					
					福岡高速			北九州高速		
		H21年度	H20年度	増減額	H21年度	H20年度	増減額	H21年度	H20年度	増減額
		A	B	A-B	A	B	A-B	A	B	A-B
設立団体出資金		218,382	214,882	3,500	160,886	157,386	3,500	57,496	57,496	0
借入金	高速道路債券	354,911	348,711	6,200	212,744	211,108	1,636	142,167	137,603	4,564
	特別転貸債	160,847	170,049	△ 9,202	122,555	127,503	△ 4,948	38,292	42,546	△ 4,254
	公営企業金融公庫資金	13,267	13,972	△ 705	10,697	11,258	△ 561	2,570	2,714	△ 144
	政府無利子貸付金	172,118	180,826	△ 8,708	132,937	138,129	△ 5,192	39,181	42,697	△ 3,516
	長期借入金	101,889	106,189	△ 4,300	33,000	35,000	△ 2,000	68,889	71,189	△ 2,300
	計	803,032	819,747	△ 16,715	511,933	522,998	△ 11,065	291,099	296,749	△ 5,650
合計		1,021,413	1,034,629	△ 13,215	672,819	680,384	△ 7,565	348,595	354,245	△ 5,650

(注)各項目において四捨五入しているため、合計において合致しない場合があります。



10. 償還計画と実績の対比

【平成21年度決算】

(単位:億円)

道路名		収入(a)	費用(b)				償還準備金繰入 (a-b)	償還準備金	事業資産	償還率(%)
			管理費(うち消費税)	損失補填	金利	合計				
合 計	決算	501	107 (11)	24	113	243	258	1,641	11,904	14%
	計画	545	136 (20)	26	119	281	264	1,640	11,905	14%
福岡高速	決算	354	61 (6)	17	70	147	207	1,574	8,162	19%
	計画	376	81 (15)	18	75	174	203	1,566	8,160	19%
北九州高速	決算	147	46 (5)	7	43	96	51	67	3,742	2%
	計画	169	55 (6)	8	44	107	61	74	3,745	2%

※四捨五入の関係で計が合わないことがある。

●償還計画の対比方法

償還計画は、福岡は料金認可(平成20年3月)、北九州は料金認可(平成20年10月)の値を使用しました。実績(平成21年度決算)と対比するため償還計画を下記のとおり変換しました。

- ・収入は、ETCマイレージ還元負担金収入、ETCマイレージ引当金繰入を加算しました。
- ・管理費は償還計画表上の管理費から道路改良費を減じ、ETCマイレージ還元負担金、ETCマイレージ引当金繰入、減価償却費、退職給与引当金繰入を加算しました。
- ・償還準備金繰入は、収入から管理費、金利、損失補填引当金繰入を差引きました。
- ・償還準備金は、計画作成時の実績に各年度の償還準備金繰入を加算しました。
- ・事業資産は、計画作成時の実績にその後供用した道路の建設費の累計を加算するとともに、各年度の管理費のうち改良費を加算しました。
- ・償還率は、償還準備金を事業資産から交付金を差引いたもので除しました。

●償還計画の変換方法の変更について

管理費の納付(還付)消費税について、昨年度までは管理費の対比が明確になるように納付(還付)消費税の計画値を実績値に変換しておりましたが、より正確性かつ透明性の向上のため、今年度より変換をせずに管理費の欄に内数(カッコ表示)で記載しました。

○損失補填引当金

損失補填引当金は、個々の道路で将来事情の不可測性等により償還計画満了時に借入金等が残った場合に備えて、その補填に当てるため料金収入の一部を積み立てているもので、道路整備特別措置法に定められています。

すなわち損失補填金は、決算では費用として扱っていますが、将来のリスクに備え、公社の経営の安定を図る内部保留金としての性格を持っており、その額は借入金の返済余裕を表しています。

損失補填金の残高は平成21年度末で394億円であり、毎年増加しています。